「情報社会」はいつから始まったと考えるか、理由と併せて350字程度以内で簡潔に記述せよ。

情報化社会(情報社会)という言葉は、新選国語辞典第八版では、情報が重要な役割をはたしている社会。大量の情報をうまく処理し利用できる者が優位に立つような社会。という意味とされています。

具体的には、Apple Ⅱなどが発売された1970年代だと考える人が多いのではないでしょうか。確かに、コンピュータの普及に伴って大量の情報を利用しやすくなったと言う側面もあるでしょう。しかし、私は、情報をうまく利用しているという点で、1970年以前から「情報社会」は始まっていたと考えます。1560年5月、東北地方で大きな勢力を持っていた、今川義元は京都へ上るべく、2万5千の大軍を引き連れ、当時弱小大名だった、織田信長の領地である桶狭間へと進みます。戦力差10倍以上という状況で信長は勝利を勝ち取り、武名が上がり、勢いも強くなりました。この戦での勝因は主に2つあると私は考えます。１つ目は地の利を生かしたこと。2つ目は天候を読んだことです。つまり、桶狭間という一本道の土地を利用し、雨が降ると予測した上で奇襲を仕掛けたということです。よって戦国時代から、情報を上手く利用する者が優位に立つ社会であったと私は考えます。